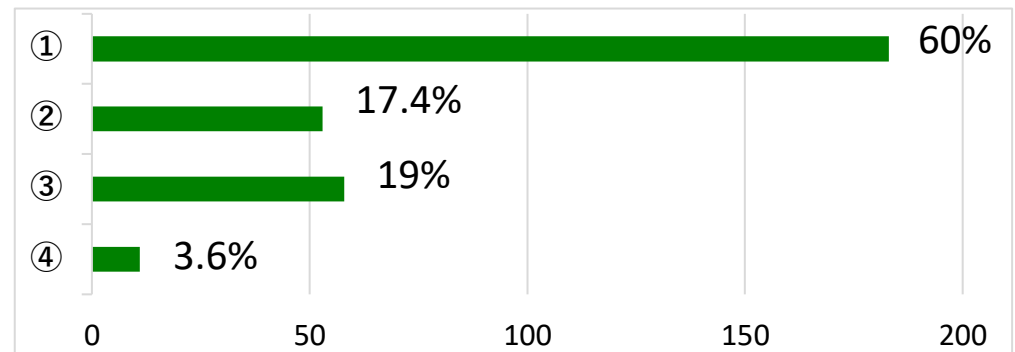


# 令和5年就職慣行等に関するアンケート調査（一人一社制について）（企業）

## 【調査概要】

- ◆対象企業 : 令和5年度に高校生の募集を行った企業のうち800社を抽出
- ◆回答数 : 305社
- ◆調査方法 : WEBアンケート調査

「一人一社制」についてどのように考えるか	
① 現行の制度のままでよい。	183人
② 初めから2社応募できた方がよい	53人
③ 9月中から卒業まで制限無く応募できた方がよい	58人
④ その他	11人



- ・①の現行の一人一社制を支持する意見が60.0%を占め、②・③の複数応募を支持する意見は全体の36.4%となりました。  
その他11人のうち6人は、現行を支持しつつ、ご意見を記載いただきました。
- ◆各項目共通で「ミスマッチを防ぐためには、インターンシップや企業説明会の回数・期間を増やし生徒自身の仕事理解を促進することが大切」とのご意見を多くいただきました。
- ◆下記に、いただきましたご意見から抜粋して記載しております。

## ① 選択理由

### 〈メリット〉

- ・複数応募を可能とした場合に、内定を複数取得する生徒と内定が取れない生徒で二極化してしまう
- ・企業側としても学生へ専門知識等は求めないが、高校までで習う最低限の知識や一般常識は習得してほしいと考えており選考の長期化に伴った、生徒の負担や学業に影響が出ることは避けたほうが良い。
- ・内定辞退をする生徒が少なく、企業としても手厚く支援をすることができる。

### 〈デメリット〉

- ・本人の希望企業が複数ある場合に、選択の幅を狭めてしまう。
- ・選考に落ちてしまった場合に、次の企業へ応募するまでに時間がかかってしまう。
- ・複数応募であれば自社への応募数が増える可能性がある

## ② 選択理由

### 〈メリット〉

- ・学生側の選択肢が増え、ミスマッチを防ぐことができるとともに、応募数が増える可能性がある。
- ・複数応募を可能とすることで、学生のプレッシャーが和らぐが、過度な応募を防ぐために2社程度が望ましい。

### 〈デメリット〉

- ・学生の内定辞退が増えてしまい、採用選考が長期化してしまう。
- ・複数社への応募は学生の負担も増し、学業への影響が懸念される。

## ③ 選択理由

### 〈メリット〉

- ・学生の選択肢の幅も増え、会社としても多くの学生の選考をできるため、大学と同様に制限はしないほうが良い
- ・複数応募を可能にすることで、ミスマッチを減らすことや、学生自身も複数応募することでプレッシャーを軽減できる。
- ・企業としても、学生が複数応募をするのであれば企業努力を怠らないのではないか。

### 〈デメリット〉

- ・学生が滑り止めとして複数応募されてしまうと、内定辞退者が増え採用選考が長期化する。
- ・1社への応募と比べて選考に時間がかかり、学生自身も選考が長期化し学業への影響が懸念される。

## ④ その他

- ・企業規模に応じて、大企業は1社、中小企業は2社までのように規模ごとの制限を設けてほしい。
- ・9月から10月、11月と応募企業を段階的に増やしていく。
- ・会社見学を行ったうえで選考を行うことが望ましい。
- ・学校推薦というのは1社に対して行うものではないのか。複数応募してどちらかは滑り止めという発想は推薦とズレている。
- ・高校生の本分は学業であり、学校行事である。高校生のうちにしか体験できないことを体験して社会人になることが重要。就職活動で貴重な体験の時間が奪われるのは高校生だけでなく、社会にとっても長期的には不利益ではないか。